

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	学校名：松戸市立小金中学校 対象学年：全学年 人数：約700人（全校生徒）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (中山和美さん講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、松戸市に縁のあるパラリンピック選手（中山和美さん）を講師として招聘し、パラリンピックに対する生徒の興味関心を高める。
5 取組内容	<p>【講演】</p> <p>自己紹介を含めたプロフィールやパラリンピックを目指すこととなった経緯等についてお話しいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松戸市の小中学校出身であること。 ・バスケットボールに励んでいたこと。 ・目標としていたフライトアテンダントとして働いていたこと。  <p>リオデジャネイロのパラリンピックに選手として参加した経験をお話しいただき、努力すること、夢を持つことなどを学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生にとって夢や目標を持つことの意義をお話しいただいた。



2020年東京パラリンピックに向けて取り組んでいることや、「今を一生懸命生きること」を小金中の生徒へのメッセージとしてエールを送っていただいた。

- ・中山さんと同じようにパラリンピックを目指している人が大勢いることを、あらためて身近に感じることができた。
- ・世界の壁は厚いこと。
- ・生徒にとってオリンピック・パラリンピック出場を目指す人が身近にいることを感じたことはとても良い経験となった。

6 主な成果	オリンピック・パラリンピックを活用することで、今回は特にパラリンピックへの興味関心を高められるとともに、障害のある人への理解を高めることができた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・松戸市にゆかりのある選手を選んだこと。 ・生徒のパラリンピックに対する興味関心を高めることをねらいとしたこと。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・講師との事前の連絡や打合せが十分にできなかったこと。 ・平日実施に関して、講師の方とのスケジュール調整が難しかったこと。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も松戸市出身等のオリンピック・パラリンピック選手を生徒に紹介していき、歴史的な世界大会が3年後日本で開催されるという意識を高めていきたい。